

た の

ね

楽

し

い

音

!

少しずつ涼しい日が続くようになり、朝夕は少し肌寒く感じることもありますね。今月末には、もう少し“秋”らしくなるのでしょうか。食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋・・・楽しみが増える季節ですね。音楽の授業でも“秋”を感じられるような取り組みをしていきたいです。

立川市立大山小学校
音楽科通信 第19号
令和2年10月5日
音楽科 大野 智子

さて、今日は、8月・9月の各学年の取り組みをお伝えします。



1年生：鍵盤ハーモニカの演奏を始めました。準備や片付けも、とても上手にできるようになっています。“2年生のお姉さん・お兄さん”の話をするとう「すごいな。僕（私）達も、そんなふうに演奏できるかな。」と、目を輝かせながら話しています。



初めて鍵盤ハーモニカの演奏をする子もいるので、一人一人の進捗状況を丁寧に確認しています。写真は、鍵盤ハーモニカを使用する前に、教科書の鍵盤の写真で練習をしている様子です。とても集中していました。

2年生：【山のポルカ】では、鍵盤ハーモニカ・タンブリン（タンバリン）・カスタネットの3つのパートに分かれて、音を重ねることができました。1つずつ目標を達成し、最後は、3人1組のグループ活動をしました。「全部のパートができるようになった。」と喜ぶ子、「カスタネットのリズムが好きで、タンブリン（タンバリン）でもカスタネットのリズムになっちゃう。」と苦戦していた子、「鍵盤ハーモニカの最後のところが吹きにくい。」と課題を明らかにしていた子・・・でも最後は、好きな楽器を1つだけ選んで、クラスで合奏しました。演奏後、安心した表情の子もいれば、とても嬉しそうにしている子もいました。ぜひ、演奏の機会を設定していきたいです。



3年生：リコーダーの音色が、きれいになってきました。「音をつなぐように。」や「息の強さだね。」と言うと、すぐに“気を付けること”を意識して、演奏方法を工夫しています。「速く吹く時には、どうしても息が強くなっちゃうから、気を付けるようにしたい。」や「音をつなげようとするとう、1つの音符になっちゃうから、どうしたらいいのかな。」等、一人一人の感じたことや気づきを大切に、そして疑問はすぐに解決できるようにしています。



保護者の皆様には、リコーダーの掃除棒（薄いガーゼやハンカチ）の準備にご協力いただき、本当にありがとうございました。

4年生：多くの子供達が、音楽鑑賞（音楽を聴く活動）を通して、音楽の特徴（速度、強弱、音の重なり、歌詞、曲の構成等）に気付くことができるようになりました。



そして、それらの気付きを、リコーダー演奏【陽気な船長】、歌唱【ゆかいに歩けば】で活かすことができるようになりました。



【陽気な船長】では、スタッカートの意味を知り、どのようにしたら“弾む感じ”が表現できるのかを工夫していました。「“弾む感じ”を表現することが難しい。」という子が多かったので、友達の演奏を聴きながら、どうしたらよいのかを話し合い、みんなで仕上げました。



歌唱【ゆかいに歩けば】では、スタッカートとなめらかなフレーズの違いに気付くことができたので、今後は表現に結び付けていけるように指導していきます。

5年生：【マイ バラード】では、二部合唱に挑戦しました。ソプラノとアルトのバランス、発音を意識すること等、一人一人が「今まで学習したこと」を振り返りながら二部合唱に取り組んでいました。

各学級で録画した合唱を聴き、課題と成果について話し合いました。友達の意見に賛同したり、反論したり・・・歌が大好きな5年生は「もっとこうしたい！」という思いが強く、精一杯に歌声を響かせています。いつか、たくさんの人の前で発表できることを願いながら・・・

録画を観ていて一番多かった感想は「俺（私）達、本番に弱いね。」と落胆した声でした。自信をもって伸び伸びと表現できるように、私も一緒に高め合っていけるよう、頑張ります。



6年生：初めて「scratch」を実施しました。私自身も、タブレットでの操作や説明に戸惑いがありましたが、活動が始まると、子供達の集中力は素晴らしかったです。

「ここの数字が変わると、伸ばす時間が変わるのですか。」や、「ドとして2つずつ音の数字が変わるから、次の音にも関連性があるのかな。」などと、タブレットの操作と音楽の内容を関連付けて意見を出す6年生。

始めは【かえるのがっしょう】を奏でました。「間違い探し」をすると、すぐに「お休みがない。」「休符って言うよ。」「あっ！これで増やすのか。」等と、考えや思いを発信していました。そして「どうしたらよいのか。」を考え、操作に専念していました。

最後は“大山小学校の校歌”を奏でました。楽譜を見ながら取り組む子、何度も自分の音を聴いては加除修正を繰り返す子・・・同じフレーズを担当した友達との意見交流では、音の長さや速さの違いに気付くことができていました。

* タブレットを使用した「Scratch」については、学習内容は違いますが、5年生も実施しました。また後日、お知らせ致します。

